
VIII 推進体制・事業計画

1. 事業スケジュール

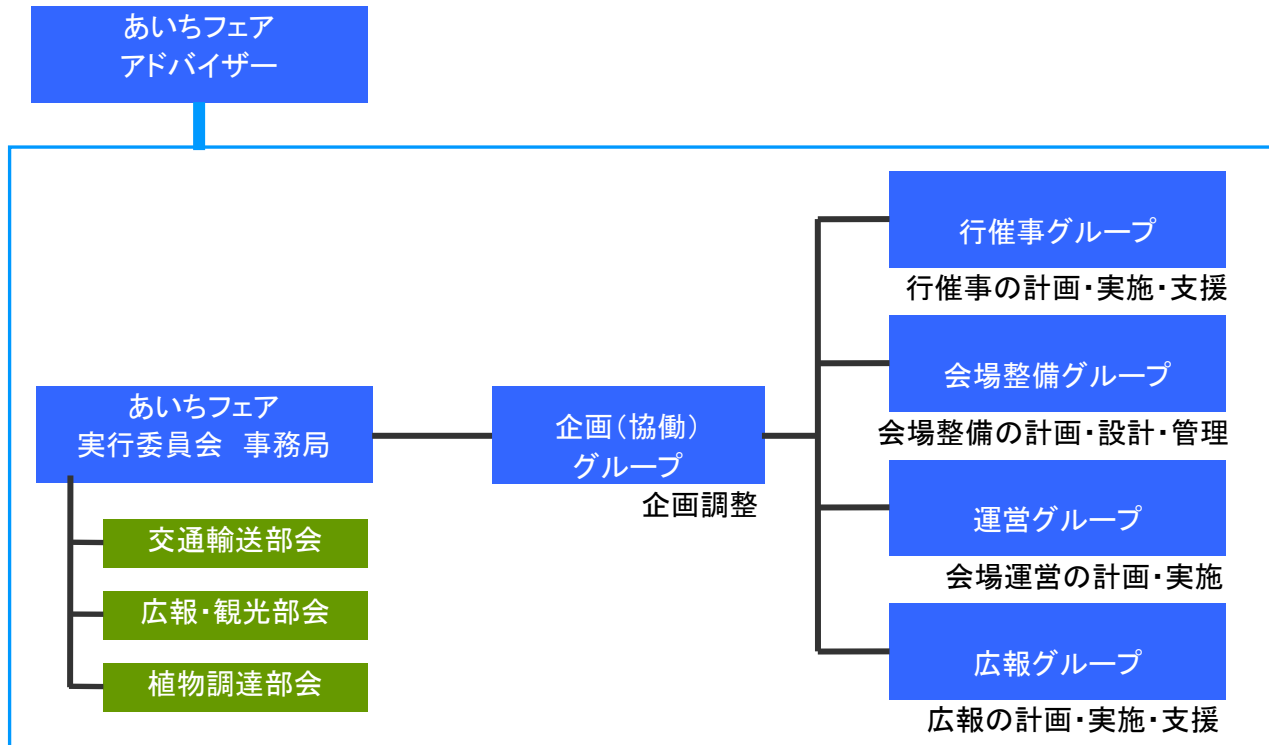
・基本計画立案後の基本的な事業スケジュールは次のとおりである。

表VIII-1 事業スケジュール案

項目	内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度
基本事項	実行委員会	★ 設立	★ 総会	★ 総会 ★ あいちフェア ★ 解散
	主要イベント		★ 1年前	★ 100日前 イベント ★ 内覧会 ★ 緑化祭
協働推進	基本的流れ	協働推進 実施計画	協働推進(募集・選定・調整・運営など)	
	協働団体	協働主体による企画・設計施工・運営(民間・団体・学校・県内市町村・他県及び政令市など)		
	ボランティア	ボランティアの募集・育成・活動		
行催事	基本的流れ	行催事 実施計画	行催事(調整・運営など)	
	イベントプログラム		イベントプログラム作成・実施	
会場整備	基本的流れ	基本設計	会場整備(実施設計・施工管理・工事など)	
	会場整備・主催者展示		基盤整備・施設整備・植栽工事	
	屋内展示		屋内展示実施計画	屋内展示制作・運営
	植物調達		植物生産・生産調整	植物納品
運営管理	基本的流れ	運営管理 実施計画	会場運営管理・交通輸送(調整・運営など)	
	会場運営管理		関係者調整	運営管理
	交通輸送		関係者調整	運営管理
観客誘致 広報宣伝	基本的流れ	誘致・広報 実施計画	観客誘致・広報宣伝(調整・活動など)	
	愛称・シンボルマーク など	募集・選定		
	キャラバン活動		キャラバン活動	
	ホームページ		SNS活用による広報活動	

2. 事業体制

- 基本計画に基づき、フェア事業を効率的に実施していくために、実行委員会を設置するとともに、必要に応じて次のような専門部会等を設置する。
- あいちフェアの事業推進にあたっては、「アドバイザー」を置くものとする。
- 実行委員会には、それぞれ協働グループ、行催事グループ、会場づくりグループ、運営グループ、広報グループを設置して、事業を推進する。



図VIII-1 実施体制イメージ

3. 事業効果

- ・あいちフェアは、以下のような3つの役割を持っている。
 - 2005年の愛知万博から10年が経ち、2010年の生物多様性条約締約国会議(COP10)の開催、2014年の持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議の開催等の経験を踏まえ、自然と人間の共生へ向けた未来へのメッセージを示すこと
 - 愛知県が日本有数の農業県であり、特に愛知県の花弁の生産額は50年以上日本一を誇っていることを再認識するとともに、県民が身近に花を愛し、緑化活動の推進につながる事
 - これにより更なる花卉等産業の発展、観光振興につながる事
- ・このような役割の中で、あいちフェアの事業効果を次のような観点で検証するものとする。

表Ⅷ-2 事業効果の検証と評価方法(案)

事業効果	概要	評価方法
人と自然との共生への意識の更なる向上	愛知万博を振り返り、あいちフェアを体験することにより、人と自然との共生への意識が高まること	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケート等による意識の変化の把握 ・生態系ネットワークの形成状況の向上(市町村等の緑化事業の把握)
「緑はつなぎ手」として、協働する人々の多様化と拡大	あいちフェアにおいて協働・参加する人々が多様化し、また、その数が増えること	<ul style="list-style-type: none"> ・目標入場者数と来場者数の把握 ・協働団体、個人、企業等の参加数の把握 ・愛知万博、COP10、ESDに参加した県民のフェアへの参加率(協働者向けアンケート)
緑化活動の拡大	県民の花や緑化資材等の消費量が増えること	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト会場・ふれあい拠点の数 ・緑化関係、環境保全活動NPO数の増加、所属人数の増加